

短期集中
リハビリ入院の
ご案内



脳卒中後遺症の新しい治療

反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS)治療

対象となる方

脳卒中の後遺症により軽度から中等度の手の麻痺がある方
自主練習を積極的に行える方

※介護保険のリハビリを受けておられる方は対象とならない場合があります。

反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) とは

磁気刺激を利用し、左右の脳のアンバランスを調整し、麻痺した手足を動かしやすくする治療です。

rTMS治療と合わせて集中的なリハビリテーションを行うことで、訓練効果が高まると報告されています。

安全に痛みなどの苦痛を伴うことなく治療できるのが特徴です。

2週間の
短期集中リハビリ

rTMS治療・リハビリ
自主訓練の流れで1日2回実施

反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 療法 短期集中リハビリ入院の流れ

2週間の入院期間の平日には、rTMS治療を毎日2回行います。
その後、療法士とのリハビリと自主練習を行っていただきます。

入院前

- 医師による適応の可否判断

入院日

- rTMS治療実施後リハビリ開始
- 自主練習

入院中のスケジュール例

9:00～	rTMS治療 (20分)	13:00～	rTMS治療 (20分)
9:30～	リハビリ (60分)	13:30～	リハビリ (60分)
10:30～	自主練習 (60分)	14:30～	自主練習 (60分)
12:00～	昼食	15:30～	病棟での麻痺手の使用練習
		18:00～	夕食

退院前

- 最終評価

●お問い合わせ先



社会医療法人平成醫塾

苦小牧東病院

地域連携室

TEL.0144-55-8811